



シチズンシップが創り出す多文化共生のまち ～静岡市のサポーター養成講座～

静岡市観光交流文化局国際交流課

静岡シチズンカレッジ こ・こ・に

静岡市は、市民の「学び」を「まちづくり」につなぐ「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」と呼ぶ人材養成プログラムに取り組んでいます。「こ・こ・に」の名称は、このプログラムが育もうとする「構想力・行動力・人間力」の頭文字からとった言葉です。

2020年度、このプログラムに、地域における多文化共生の担い手を育成する「多文化共生サポーター養成講座」が新たに加わりました。市内で生活する外国人の力になりたいと思っている人たちが、座学やグループワークを通して、多文化共生の基礎知識を身に付け、地域での活動に活かすことをねらいとした市主催の講座です。



静岡市における多文化共生の状況と意義について学ぶ

受講生募集での悩み

この講座を開始するにあたり、予算や運営の効率性を考慮し、定員を20人と設定しましたが、受講料があることや、6か月間で全5回の講座に参加すること、グループワークを伴うことなどから、コロナ禍で受講生が集まるかが運営側の一番の心配事でした。

しかし、7月末の締切日には、定員の倍近くの申込みがあり、多文化共生への関心の高さをうかがえる結果でした。

そして9月、第1回の開講式には、自治会長や民生委員、日本語学習や国際交流のボランティアで活動する人、また、多文化共生に関心はあるが活動までに至っていない人など、20から70歳代までの幅広い年代の受講生が集まりました。

講座の企画・運営

1講座あたり3時間、全5回の講座は、受講で得られるスキルとゴールを明確に設定しました。「多文化共生の意義を学ぶ」「外国人住民とのコミュニケーション能力を習得する」「国籍や文化を超えた住民の交流を活発化するノウハウを身に付ける」の3つのスキルを習得し、それらを活かして「多文化共生サポーターとして自分なりの活動に取り組む」をゴールとしました。受講生一人ひとりが自ら多文化共生を考え、このまちの多文化共生を描き、主体的に取り組むことを見つけるというコンセプトです。

静岡市には、いろいろな国籍の外国人住民が広い地域の諸所に住んでいるという特色があります。このため、身近な地域の中で国籍を問わず交流を深め、助け合い、より良いまちづくりをともに進めていくことを浸透させる必要があります。



中国人留学生とのグループワークでやさしい日本語を学ぶ



受講生の発表「多文化共生サポーターとして」

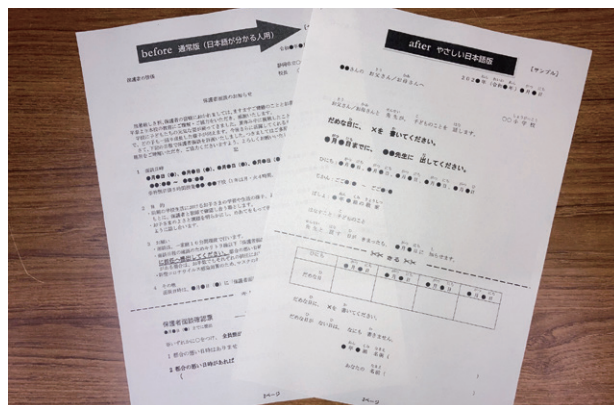
この担い手となる受講生が、限られた時間内に、外国人住民の抱える悩みを理解し、課題解決の想像力を培うことができるよう、外国人住民や留学生を交えたグループワークを取り入れたり、「やさしい日本語」を学ぶ機会を設けたことは、受講生の満足度を高める成果に結びついたと考えています。

2月の最終回では、受講生が一人ずつ、自らが「多文化共生サポーター」として行いたい活動を発表し、名残惜しい雰囲気の中、全カリキュラムを修了しました。

自主的な活動がスタート！

受講生の修了後の活動については、企画段階から運営側の課題でしたが、受講動機も一人ひとり異なり、ルールを設ける必要はないとの結論に達しました。一部の受講生から、「サポーターになったら何をしますか。」と尋ねられたこともありましたが、その答えは、「あなたは何をしたいですか。」でした。

最終回で、ほかの受講生の「多文化共生サポーターと



学校からのお便りの「やさしい日本語」化プロジェクト

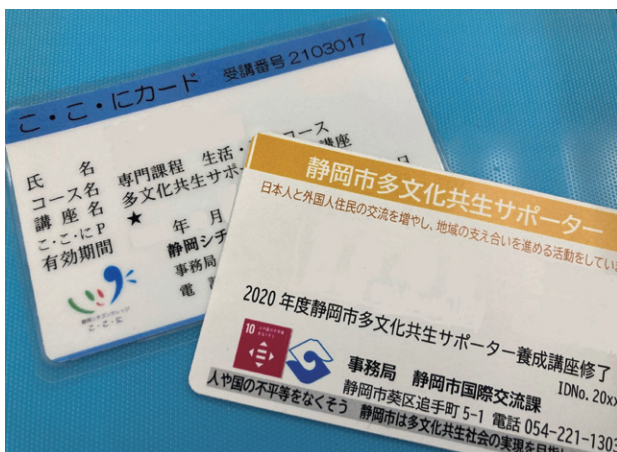
しての展望」にお互いに刺激を受け合ったメンバーは、すぐに、自主的に、オンラインミーティングに集い、どんな活動をするかを話し合っていました。

その中で、現在、最も大きな活動になっているものは、「学校からのお便りの『やさしい日本語』化プロジェクト」です。これは、日本語に不慣れな外国人保護者にとって小中学校から送られる通知が理解できないという課題に対し、やさしい日本語のテンプレートを用意して学校に提供するという活動です。教育委員会にも働きかけ、市立学校のネットワークシステムから教職員がダウンロードできるようにしています。

2021年度、2年目となった「多文化共生サポーター養成講座」では、20人程度の新たなサポーターが生まれようとしています。

今年の講座の1コマで、2020年度の修了生に、現在の活動を報告してもらいました。受講生からは、「自然発生的に集まるのは考えられない。何か仕掛けがあったのか。」という驚きの声がありました。

運営側として、今後、各年度の受講生が、それぞれの立場から、協力、連携し合いながら、静岡市の多文化共生のまちを推進する活動に取り組んでいくことを期待するとともに、市民の熱意や行動力をまちづくりに着実につなぐ事業展開を図っていかねばならないと感じています。



講座の修了生に配られるIDカード

静岡市多文化共生サポーター養成講座

くわしくは 静岡市公式ホームページから

